

2010年1月初回発行
2013年3月更新

Oracle Data IntegratorおよびOracle Warehouse Builder Statement of Direction

免責事項

本書には、書式、ソフトウェアまたは印刷物のいかんによらず、オラクルが独占的に所有する独自の情報が含まれています。この機密文書へのアクセスと使用は、締結および遵守に同意したOracle Software License and Service Agreementの諸条件に従うものとします。本書とここに含まれる情報は、オラクルの事前の同意を得ることなく、オラクル以外の者に開示、複写、複製または配布することが禁じられています。本書は、ライセンス契約の一部をなすものではなく、オラクル、その子会社または関連会社とのいかなる契約上の合意事項にも組み込まれるものではありません。

本書は情報提供のみを目的としており、記載した製品機能の実装およびアップグレードの計画を支援することのみを意図しています。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。本書に記載されている機能の開発、リリース、および時期については、弊社の裁量により決定されます。

製品アーキテクチャの性質により、コードが大幅に不安定化するリスクなしに、本書に記載されているすべての機能を安全に含めることができない場合があります。

目的

本書は、バルクデータ移動および変換のためのオラクルのデータ統合製品の中でも特に、Oracle Data IntegratorおよびOracle Warehouse Builderの戦略的製品計画の概要について説明します。オラクルのデータ統合ソリューションに投資することで得られるビジネス上の利点をご評価いただけにあたり、本書が一助となれば幸いです。

概要

オラクルは、Oracle DatabaseをロードするためのツールであるOracle Warehouse Builderをはじめとして、長年にわたり顧客のデータ統合要件に対して高価値を提供してきました。異機種E-LTベンダーのSunopsisを2006年に買収したオラクルは、高パフォーマンスで柔軟な異機種データ統合を目的としたポートフォリオにOracle Data Integratorを追加しました。2009年1月、オラクルは、Oracle Data IntegratorとOracle Warehouse Builderのオプション機能を1つのライセンスにまとめた製品バンドルであるOracle Data Integrator Enterprise Editionを発表しました。その時点でオラクルは、これら2つのテクノロジーを統合された1つのプラットフォームに集約する予定であることも発表しました。

オラクルのデータ統合戦略に関する今回のStatement of Directionの更新では、以下の製品およびテクノロジーのための詳細な計画について説明しています。

- **Oracle Data Integrator** : 高パフォーマンスで柔軟な異機種データ統合のためのオラクルの戦略的製品
- **Oracle Warehouse Builder Enterprise ETL** : Oracle Warehouse Builderに慣れているユーザーにOracle Data Integratorのおもな利点を提供するオラクルの製品
- **Oracle Data Integrator Enterprise Edition** : Oracle Data IntegratorおよびOracle Warehouse Builder Enterprise ETLを含む、オラクルの戦略的なライセンス製品バンドル
- **Basic ETL** : Oracle Databaseで引き続き使用可能なOracle Warehouse Builderの基本機能

データ統合のためのオラクルの戦略的製品であるOracle Data Integrator

企業が最小のコストで自社のデータ資産を十分に活用するためには、データ統合をエンタープライズレベルの戦略的な投資として扱う必要があります。Oracle Data Integratorは、オラクルをはじめ多くの企業が戦略的なデータ統合プラットフォームに不可欠なものと認識している、以下の革新的なコア・アキテクチャを提供します。

- 異機種E-LTアキテクチャ
- コストの削減とパフォーマンス、管理性、およびセキュリティの向上のために、大規模な中間層サーバーを別途用意する必要はなく、既存のデータベースで変換を実行します。変換データベースを、任意の異機種プラットフォームにすることができます。

- 最適化された接続アーキテクチャ
高パフォーマンスのデータの抽出およびロードのために最適化された、out-of-boxな機能を用いて、異機種システムにシームレスに接続します。
- モジュラー実装アーキテクチャ
データ統合の実行ロジックの詳細をout-of-boxなコード・テンプレートに抽象化できます。この“ナレッジ・モジュール”と呼ばれるテンプレートは、容易に修正・拡張することができ、実装時間の短縮、柔軟性の向上、および標準化の促進に寄与します。
- SOAネイティブ・アーキテクチャ
データ統合タスクを標準ベースのサービスとして公開し、他のSOAコンポーネントとともに配置される軽量のエージェントからデータ統合プロセスを制御します。

基本的なOracle Warehouse Builderの機能は維持

プロトタイピング、デモンストレーション、およびOracle Databaseの小規模なETLプロジェクトに適したOracle Warehouse Builderの基本的な機能は、Oracle Databaseライセンスの一部のまま維持されます。このことは、近日リリース予定のOracle Database 12c Release 1にも適用されます。

Oracle Warehouse Builder Enterprise ETLは、便宜上Oracle Databaseとともに提供され、Oracle Data Integrator Enterprise Editionの一部として別途ライセンスされます。オラクルのライセンス文書には、Oracle Warehouse Builder Enterprise ETLの一部であり、Oracle Databaseライセンスには含まれない正確な機能リストが反映されています。

Oracle Warehouse Builder 11.2リリース以降は、Oracle Warehouse Builderのおもな拡張は予定されていません。Oracle Warehouse Builder 11.2は、引き続き入手が可能でオラクルによるサポートが継続され、パッチおよびバグ修正は一定の間隔で引き続き提供されます。オラクルは、Oracle Databaseリリースに関するライフタイム・サポート・ポリシーに従って、Oracle Database 11gのライフタイム全体および近日リリース予定のOracle Database 12c Release 1のライフタイム全体にわたり、Oracle Warehouse Builder 11.2のサポートを継続します。Oracle Database 12c Release 1以降の将来のデータベース・リリースについては、Oracle Warehouse Builder 11.2では保証されません。

Oracle Warehouse BuilderからOracle Data Integratorへの段階的な移行をオラクルがサポート

Oracle Databaseの多くの顧客やパートナーがOracle Warehouse Builderに時間を投資して、その専門性を高め、Oracle Warehouse Builderに関連してデータウェアハウス戦略を構築してきました。このことを念頭に、オラクルでは、Oracle Data Integratorへの段階的な移行プロセスをサポートしています。

1. Oracle Data Integratorの次回のメジャー・リリース (“Oracle Data Integrator 12c”) では、Oracle Warehouse Builder 11g Release 2ジョブをOracle Data Integrator StudioとOracle Data Integrator Consoleで直接実行および管理することをサポートします。これにより、1つのオーケストレーションおよびモニタリング・ソリューションが実現されるとともに、顧客のビジネスに合わせたスケジュールに従って、時間をかけてOracle Warehouse Builderの遺産を移行できます。

- Oracle Data Integrator 12cは、Oracle Warehouse Builder 11g Release 2のコンセプトおよびオブジェクトとOracle Data Integrator 12cのそれとの容易な対応付けをサポートします。Oracle Data Integrator 12cがリリースされると、Oracle Warehouse Builder 11g Release 2の更新もリリースされます。この更新には、Oracle Warehouse Builderのオブジェクトと物理マッピングをOracle Data Integratorのそれに自動変換する移行ユーティリティが含まれます。この移行ユーティリティは、移行プロセスの支援を目的としており、Oracle Warehouse Builderのすべて種類の遺産および派生物を変換するものではありません。このため、手動作業も計画する必要があります。

オラクルの統一されたデータ統合製品に2つのパスを提供するOracle Data Integrator Enterprise Edition

Oracle Data Integrator Enterprise Editionのライセンスにより、顧客はOracle Data IntegratorまたはOracle Warehouse Builder Enterprise ETLのどちらか、あるいはその両方を使用する権利を得られます。

オラクルの戦略的データ統合製品への2つのパス

この1つのライセンスを供与された製品の一部として、Oracle Data Integrator Enterprise Editionは、Oracle Data Integratorの今後のバージョンに対応するために、次の2つに対して同じように実行できる実装パスを提供します。

1. Oracle Data Integratorにおける開発に投資

維持すべきOracle Warehouse Builderの専門知識やコンテンツへの従来の投資が最小限である場合は、Oracle Data Integratorに投資してください。オラクルの統一されたデータ統合製品であるOracle Data Integratorの将来のバージョンが入手可能になり、そのタイミングがビジネスに適合したときに、簡単なアップグレードを通して将来のバージョンに引き継がれます。

2. Oracle Data Integrator 12cの導入を計画しているがこのバージョンのリリースまではOracle Warehouse Builderの使用を継続

専門知識および/または既存のマップの観点から見て、Oracle Warehouse Builderにすでに投資している場合は、Oracle Data Integrator 12cがリリースされるまでOracle Warehouse Builderへの投資を継続してください。

オラクルは過去数年間にわたって、Oracle Warehouse Builder 11g Release 2をリリースすることによって、さらにはOracle Data Integrator 12cのリリースを計画することによって強化してきた以下の3つの点を主張しています。

1. Oracle Data IntegratorおよびOracle Warehouse Builder Enterprise ETLのテクノロジーを統一された製品に集約します

Oracle Data Integrator 12cは、Oracle Warehouse Builderのいくつかのコンセプトによって機能が拡張されています。これにより、Oracle Warehouse Builderの遺産と専門知識をOracle Data Integratorに容易に移行できます。

2. Oracle Warehouse Builderの顧客に対応します

Oracle Warehouse Builderは、近日リリース予定のOracle Database 12c Release 1で認定されます。このため、顧客のペースでOracle Data Integratorに移行することができます。Oracle Data Integrator 12cは、Oracle Data IntegratorのコンソールでのOracle Warehouse Builderジョブの実行と監視もサポートするので、段階的なアプローチが可能です。

3. Oracle Data Integratorの革新的なアーキテクチャが、将来への方向性を示します

現在の新機能開発はすべて、Oracle Data Integratorに重点を置いて行われています。

他のOracle製品におけるOracle Data Integratorの戦略的な使用

オラクルには、データ統合のために互いに強化し合う以下の2つの部分で構成される戦略があります。1) 企業全体のデータ統合のための、ベスト・オブ・ブリードのスタンダードアロン異機種データ統合プラットフォームを提供すること。2) データ統合の全体的なコストを劇的に削減するために、データ統合テクノロジーおよび事前構築済みのコンテンツを他のOracleアプリケーションに組み込むこと。

他のOracle製品の顧客は、最新のリリースに組み込まれたOracle Data Integratorを参照し始めています。Oracle Business Intelligence Applications、Oracle Fusion Applications、オラクルの垂直アプリケーションといった戦略的製品だけでなく、ほとんどすべての製品領域において、Oracle Data Integratorが他のコンポーネントとともに順次組み込まれています。

スタンダードアロンのデータ統合テクノロジーとしてのOracle Data Integratorに投資することによって、顧客は、データ統合のためにOracle Data Integratorが組み込まれた他のOracle製品からの知識投資をさらに活用できます。

異機種サポートへの取組み

2006年にSunopsisを買収する前、オラクルはもっぱらOracle Databaseのためのデータ統合要件に重点を置いていました。この買収以降、オラクルは、顧客の間で使用されているデータベース、アプリケーション、ビジネス・インテリジェンス製品、ミドルウェア製品、オペレーティング・システムおよびハードウェアの組合せには関係なく、包括的な異機種データ統合要件に対応することを確約しています。

新しいリアルタイム・データ統合プラットフォーム

オラクルは、ビジネスを迅速化し、よりリアルタイムに近いITアーキテクチャへ移行するという、企業への圧力を認識しています。データ統合も、リアルタイムのデータ移動や非侵襲的なチェンジ・データ・キャプチャを必要とするように進化しています。2009年9月、オラクルは、異機種リアルタイム・データ統合におけるリーダーのGoldenGate Softwareを買収しました。Oracle GoldenGate製品は、Oracle Data Integratorと相互運用して、業界でも独創的なリアルタイム・データ統合のための強力なプラットフォームを提供します。

Oracle GoldenGateは、オラクルのデータ統合製品全体の中でも重要な部分を占めますが、このドキュメントの範囲外です。Oracle Data Integrator Enterprise Edition、Oracle GoldenGate、Oracle Enterprise Data Qualityを含むリアルタイム・データ統合の包括的なアプローチの利点について詳しくは、www.oracle.comを参照してください。

結論

オラクルは、Oracle Data IntegratorとOracle Warehouse Builder Enterprise ETLとの集約に一步ずつ近づいてきました。2009年1月に、Oracle Data IntegratorとOracle Warehouse Builder Enterprise ETLを含むOracle Data Integrator Enterprise Editionのライセンス・バンドルを導入することによって、最初の大きな一歩を踏み出しました。そして、Oracle Warehouse Builderの最終リリースであるOracle Warehouse Builder 11g Release 2のリリースによって、2回目の大きな一歩を踏み出しました。Oracle Data Integrator 12cは、これらの集約作業の集大成です。

Oracle Data IntegratorとOracle Warehouse Builderのテクノロジーを統一するOracle Data Integrator 12cが入手可能になり、そのタイミングがビジネスに適合したときに、顧客はこの製品に向けて前進する機会を得ることができます。Oracle Data Integrator製品の新機能と移行ツールにより、移行が容易になります。そのときまで、Oracle Data IntegratorとOracle Warehouse Builder Enterprise ETL 11g Release 2が、企業全体の戦略的データ統合要件を解決する支援をします。



Oracle Data Integratorおよび
Oracle Warehouse Builder Statement of
Direction
2013年1月
著者：オラクル

Oracle Corporation
World Headquarters
500 Oracle Parkway
Redwood Shores, CA 94065
U.S.A.

海外からのお問い合わせ窓口：
電話：+1.650.506.7000
ファクシミリ：+1.650.506.7200
www.oracle.com



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2012, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. 本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による默示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての默示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracleは米国Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

0109

Hardware and Software, Engineered to Work Together